

## 2019年7月9日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- Q&Aの前のアップデート なにひとつ調印していないイラン -

<https://youtu.be/ooGGhLxmVj0>

イランは、彼らと大国、ヨーロッパ、国連、ロシア、中国との間で交わした協議に、意図的に違反していることを発表しました。イランは、ウラン濃縮を20%まで加速しました。協議で決められた3.5パーセントから、20パーセントです。武器レベルのウランには、まだまだ足りませんが、それでも彼らは、武器レベルのウランに近づいています。20パーセントに加速すれば、たった3.5パーセント濃縮の時よりも、達成までの時間はとても短くなります。皆さん、これは確実に危惧すべきことです。イランは、アメリカ側から何らかの反応を引き出そうとして、挑発しています。彼らは、彼らがドローンを攻撃した時に、自分たちが一線を越えたであろうことを理解していました。アメリカが報復寸前であったことを、彼らは理解していました。あきらかに、少しばかりの限られた軍事的報復には全く効果がなく、実は制裁の方が、はるかに効果があるのです。トランプ大統領は、制裁がさらに厳しくなることを、イランに対してとても明確にしました。そして、それが現在、イランにダメージを与えています。彼らは、非常に多くの場所から兵士たちを撤退させていることが分かっています。彼らには、これらの経費のすべてを払うことができませんから。それでもイエメン国内のフーシ派のような代理を送り込んで、彼らの怒りや鬱憤を、すべてアメリカの味方であるサウジに向けています。とても興味深いかたちで、ペルシャ湾の危機のすべてをもってしても、石油価格は高騰していません。理由はとてもシンプルです。アメリカが世界最大の石油輸出国で、アメリカはそのギャップを埋めて、すべての需要を満たすことができているのです。ですから、イランのペテンが増せば増すほど、アメリカの石油産業にとっては良いのです。ペルシャ湾から石油が来ない分、彼らが石油を販売することができますから。これは、もちろんロシアとサウジが気に入りません。ロシアとサウジは、数年でないにしろ、ここ数ヶ月間、価格と石油製造を調整し、価格を引き上げようとしていたのです。それが、そこから得をしているのは、基本的にはアメリカです。なぜなら、価格が上がるたびにアメリカが生産量を増し、価格をまた引き下げているからです。石油を販売しているのは、アメリカです。ですから非常に興味深く、トランプ政権の“Win-Winシチュエーション”です。そして、もちろんこの数週間、私たちが目にしている通り、それが市場に反映しています。これが、あちらの状況です。

もうひとつ、多くの人が知らないこと。イランが何でも好き放題をしているのは、彼らは本当の協議には、何一つ調印していないからです。私はシンガポールに向かう途中で1つの記事を投稿しましたが、その中で伝えたのは、基本的には、イランは一度も協議に調印していない、ということです。皆さんがご存じかどうか分かりませんが、イラン当局、ヨーロッパ当局、アメリカ当局が書類に調印している映像は、どこにもありません。そしてオバマ政権が、それを認めました。当時の代議士で、現在の国務長官ポンペオが質問をした時、国務省の回答は、「その通り。調印された同意書は存在しない。これは、私たちが“政治的理解”と呼ぶものだ」イランはアメリカをだまして、あるいは、イランは実際にアメリカと共謀して、一部の人が得をする協議を生み出したのかも知れません。しかし、世界平和を生み出さなかったことは確実です。なぜなら、アメリカの根本原理は、“イランを助けることでテロを減らす”というものでしたが、これは、全く逆です。イランを助けることは、実際には何百万、何億という資金をレバノンのヒズボラであれ、ガザ地域のイスラム聖戦派やハマスであれ、もしくはイエメンのフーシ派やイラクのハシャド アル・シャビ(Hashd al-Shaabi)であれ、テロリストに送り込み、あの地域全体を不安定にしました。イランはそもそも、この資金を自分たちの経済や自分たちの国民、自国を良くするために使う気は、さらさらなかったのです。彼らは、オバマ政権が与えた現金を流しました。また彼らは、当時のアメリカ政権から受けた武器販売とウラン濃縮に対する暗黙の了解を利用したのです。

ところで、皆さんがご存じかどうか分かりませんが、国連決議によれば、イランはその領土内でのウラン濃縮は、一切許されていません。そしてイランは、だれに対しても、いかなる武器も、その販売を一切許されていません。それが、当時のアメリカ政権であるオバマ政権は、彼らにウラン濃縮と武器輸出を認めたのです。それは、あの地域に平和と安定をもたらすこととは真逆です。まさにそのために、トランプ大統領は、「これは、非常にお粗末な協議」だと言ったのです。「私たちは、実際にウラン濃縮を認めていて、そして彼らはいつも私たちと駆け引きをする」彼らはいま、それをしています。「私たちは、彼らに武器輸出を認めている」彼らは、すでにそれをして、パレスチナのテロ組織やレバノンのテロ組織、イラクのテロ組織、それとももちろん、イエメンのテロ組織を武装しています。ですから皆さん、これが現在起こっていることです。これは一度も調印されておらず、だれも縛らない協議なので、従ってイランは何でもやりたいことをして、さらなる制裁が加えられようと、彼らは全く気にしていません。なぜなら、トランプ大統領が2020年の大統領選で敗北するのを、彼らは待ち構えているからです。これはパレスチナが期待し、ベネズエラが期待し、イランが期待していることです。彼が敗北するのを待ち構えている会社すべてを考えてみてください。彼らは全員、この驚くべき有能かつ断固としたトランプ政権の影響を受けているのです。ということで、以上です。皆さんが理解できるように、すべてを正しい視点に置く必要がありました。イランの狙いに関する中東における侵略と緊張の高まりは、ひとえに、イランが何一つ調印していないからです。彼らを縛る国際協議は、ひとつもありません。すべては、口頭の政治的理解にすぎません。彼らは握手はしましたが、書類には一切調印していません。一度も調印されていない協議について世界中が語っているとは、かなり驚きです。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.07.12 (Fri)